

61

## GHQ/SCAP/PHW 文書の記録用覚書の セクション名の分析による PHW の活動の変遷の考察

杉田 聡<sup>1)</sup>, 田中 誠二<sup>2)</sup>, 丸井 英二<sup>3)</sup><sup>1)</sup>大分大学 医学部, <sup>2)</sup>新潟大学 人文社会・教育科学系, <sup>3)</sup>人間総合大学 人間科学部

### 【目的】

発表者らはこれまで国会図書館憲政資料室にマイクロフィッシュの形態で保存されている GHQ/SCAP/PHW (連合国最高司令官総司令部公衆衛生福祉局) 文書を用いて日本占領期の保健医療政策の変遷を考察してきた。歴史的な研究はもちろん史料を用いた質的研究が中心となるが、今回は Daily Journal のファイルに非系統的に保存されている Memorandum for Record (記録用覚書) の内容を統計的に分析し、保健医療政策の変遷を計量的に考察することとした。

### 【方法】

Memorandum for Record を年月日順にソートして、発行日付、起草者の氏名、所属部署、表題をデータベース化した。その中で今回の研究では起草者の所属部署に注目して、占領期の各年で文書の所属部署の分布の特徴を探る。なお、GHQ/SCAP の組織は公衆衛生福祉局というような「局 (Section)」の下部に予防医学課というような「課 (Division)」を設けて構成されており、本研究はこの「課」ごとに分類をした (注: 時限的に創設された下部組織である「係 (Branch)」や専門家が独立して活動した「顧問 (Consultant)」が存在する場合は別に分類・集計した。

### 【結果】

- ・1945年 (n=727) : 1) 予防医学 (Preventive Medicine) 169, 2) 資材 (Supply) 153, 3) 福祉 (Welfare) 102, 4) 看護 (Nursing Affairs) 63, 5) 病院管理 (Hospital Administration) 48.
- ・1946年 (n=2406) : 1) 資材 (Supply) 869, 2) 福祉 (Welfare) 349, 3) 予防医学 (Preventive Medicine) 230, 4) 看護 (Nursing Affairs) 114, 5) (畜産) 獣医関連 (Veterinary Affairs) 128.
- ・1947年 (n=3528) : 1) 資材 (Supply) 1461, 2) 福祉 (Welfare) 737, 3) (畜産) 獣医関連 (Veterinary Affairs) 128, 4) 社会保障 (Social Security) 121, 5) 実験室顧問 94 (Laboratory Consultant).
- ・1948年 (n=3323) : 1) 資材 (Supply) 1065, 2) 福祉 (Welfare) 476, 3) 麻薬取締 (Narcotic Control) 267, 4) 予防医学 (Preventive Medicine) 225, 5) (畜産) 獣医関連 (Veterinary Affairs) 152.
- ・1949年 (n=3445) : 1) 資材 (Supply) 964, 2) 福祉 (Welfare) 341, 3) 麻薬取締 (Narcotic Control) 328, 4) 予防医学 (Preventive Medicine) 280, 5) (畜産) 獣医関連 (Veterinary Affairs) 255.
- ・1950年 (n=2572) : 1) 資材 (Supply) 614, 2) 福祉 (Welfare) 356, 3) ((畜産) 獣医関連 (Veterinary Affairs) 243, 4) (地域の) 組織・再構成 (Organization & Rehabilitation) 231, 5) 麻薬取締 (Narcotic Control) 205.
- ・1951年 (n=1331) : 1) 資材 (Supply) 260, 2) 麻薬取締 (Narcotic Control) 151, 3) 福祉 (Welfare) 131, 4) 医療サービス 117, 5) 予防医学 (Preventive Medicine) 116.
- ・1952年 (n=511) : 1) 予防医学 (Preventive Medicine) 142, 2) 福祉 (Welfare) 108, 3) 公衆衛生福祉局 PHW 93, 4) 資材 (Supply) 83, 5) 麻薬取締 (Narcotic Control) 40.

### 【考察】

占領初期には「予防医学 (Preventive Medicine)」や「資材 (Supply)」の割合が高く、これは当時大流行していた感染症の対策のためだと考えられる。PHW (Public Health & Welfare) は公衆衛生だけではなく福祉も含まれるので「福祉 (Welfare)」は占領全期にわたり割合が高い。占領中期からは「麻薬取締 (Narcotic Control)」や「(畜産) 獣医関連 (Veterinary Affairs)」の割合が高くなっていった。この点については今後の考察が必要となる。発表においては表題の分析を通じて政策の変遷をさらに詳細に考察する。